

## 地域とともに歩む学校

～将来も継続していくことのできる取組を目指して～

千葉県立飯高特別支援学校

電話 0479-70-5001

FAX 0479-70-5123



### 研究のポイント

地域に根差した学校づくりの基礎として、特色のある地域とのつながりを目指し、小規模校としての良さを生かしながら、将来も継続できるような取組について実践研究を行った。

#### ■学校の概要

<http://www.chiba-c.ed.jp/iidaka-sh//>

本校は、平成27年度に開校した、小学部19名、中学部5名、高等部19名の知的障害のある児童生徒が学ぶ学校である。閉校した小学校を利活用して作った学校であり、地域の方が母校として愛着をもち、親近感をもっているという、地域との交流をしていく上で恵まれた環境にある。

#### ■研究課題

地域に根差した学校づくりを目指す本校では、地域の方々に児童生徒や特別支援教育の理解を広げていくとともに、地域の教育資源を活用しながら、ともに学ぶ機会を充実させていくことが重要である。そこで、地域の方々や居住地校との組織的、計画的な連携方法や取組について検討し、実践的研究を行う。

#### ■研究の目的と方法

##### 目的

- ・地域の方々や居住地校と活動をともしることによって、児童生徒の学びや体験活動を充実させる。
- ・地域とのよりよい連携の方法を探り、学校を中心とした地域ネットワークの基礎を作る。

##### 方法

- ・全校、学部、グループ、個人など、いろいろな関わり方で、地域の方々や居住地校との交流を計画、実践し、成果と課題をまとめる。
- ・開かれた学校づくり委員会を活用し、地域の方々との連携を図るための体制づくりを進める。

#### ■研究概要

##### <授業実践>

##### 小学部

「地域の方と野菜を育てよう」(1回)

- ・地域の方をゲストティーチャーとして招き、野菜の植え方や育て方について教えていただいた。

「地域のデイサービスセンターとの交流」(5回)

- ・歌やダンス、劇の発表をしたり、一緒に手作りのゲームを行ったりした。

##### 中学部

「地域のデイサービスセンターとの交流」(5回)

- ・スポーツ交流として、一緒にTスローを行った。
- ・生活単元学習「掃除の達人になろう」という学習を生かし、熊手を使った庭掃除、モップ、掃除機、雑巾を使った室内清掃を行った。

##### 高等部

「地域のデイサービスセンターとの交流」(3回)

- ・校内実習の一環として、日頃の学習を生かすための清掃活動を行った。また、利用者の方々や職員の方々との交流を図った。
- ・もちつきの手伝いや準備を通して、交流した。

「地域の清掃活動」(2回)

- ・学校周辺や飯高檀林(飯高寺)の清掃活動を行った。

## 全校

- ・「運動会」「樹望祭」「防災訓練（災害救助犬デモンストラーション）」、「1000カ所ミニ集会」を地域の方を招いて行った。

## 居住地校交流

- ・小学部19名中11名が居住地校交流を実施した。内1年生は、5名。昨年度からの継続児童は6名である。
- ・音楽や体育などを一緒に学習したり、給食や休み時間を一緒に過ごしたりと、楽しい時間を共有した。

## 体制づくり

- ・「開かれた学校づくり委員会」を開き、ミニ集会や飯高檀林の清掃活動を計画し、実践した。清掃活動では、「檀林を守る会」の会長さんを講師に招聘し、生徒の事前学習を行った。ミニ集会では、「地域防災」をテーマにして、地域の方にも呼びかけ、一緒にグループ討議や演習を行った。
- ・教職員の研修として、地域の方を講師として招き、飯高地区の地理や歴史について学んだ。
- ・地区の社会福祉協議会主催の「サテライトサービス」に教職員も参加し、地域の方々とレクレーション活動を行った。
- ・地区の青少年健全育成会主催の「ウオークラリー」に教職員の有志が参加し、地域住民や参加者との親睦を深めた。

## <成果>

### 児童生徒

- ・特別な活動ではなく、日々の授業の中で、地域のデイサービスセンターとの交流を重ねてきたことで、自然に関わりがもてるようになってきた。また、お互いに次回交流を楽しみにする様子や言葉が聞かれるようになってきた。
- ・少人数の交流を繰り返すことで、フェイス to フェイスの交流ができたり、地域の方と顔見知りになることができたりと小規模校のよさを生かすことができた。
- ・地域の清掃活動に取り組んできたことで、「きれいになってよかった。」「喜んでもらった。」という満足感や達成感を味わうことができた。また、地域に対する関心意欲につなげることもできた。

### 教職員

- ・「開かれた学校づくり委員会」を活用し、地域行事を計画して、実践に生かすことができた。
- ・地域行事に参加し、地域のネットワークの基礎づくりを進めることができた。
- ・どの活動も、無理なく取り組むことができたので、教職員からも地域との交流について継続していきたいということや居住地校交流だけでなく、学校間交流についても考えていきたいという、前向きな意見が聞かれた。

### 地域の方々より

- ・地区デイサービスセンターの職員から、利用者の方々が交流を楽しみにしているので、一緒に触れ合えるような機会をさらに増やしてほしいという意見をいただくことができた。
- ・清掃活動により、「きれいになった。」「ありがたい。」という言葉が掛けていただくことができた。

## <次年度に向けて>

- ・今後も、日々の授業の中で、お互いに有意義であり、地域の中で当たり前活動になっていくような交流を目指し、実践していく。
- ・地域の方にゲストティーチャーとして来ていただく機会を多く作り、地域について理解を深めたり、関わりを広げたりすることができるようにしていく。
- ・「開かれた学校づくり委員会」や地域の方々の声を大切にしながら、体制づくりを進めていく。